

令和3年度 事業報告

自 令和3年4月 1日

至 令和4年3月31日

I 事業の重点目標

- 学校給食の振興を図り、児童生徒及び国民への食育を推進する活動をととして、児童または青少年の健全育成に寄与する。
- 学校における教育活動に根付いた食育の推進をととして、児童生徒の健全な育成と豊かな人間形成を目指し、あわせて、保護者をはじめ地域住民など広く国民の心身の健康に寄与する。
- 食育推進の中核である栄養教諭、学校栄養職員の資質の向上を図る。
- 食育推進に係る国の施策の遂行に協力するとともに、国民の健康増進に寄与するための事業を行う。
- 公益社団法人として、社会における役割と責任を自覚した活動を行う。

II 事業内容

公1. 食育の推進事業

(1) 学校給食週間行事の推進

学校給食週間では、学校給食の意義や役割を児童生徒や教職員、保護者、地域の方々の理解と関心を深めるための機会とし、食育活動を推進した。また、全国で行われている食育活動を収集して取り組み事例集を作成し、それを全国の栄養教諭等が共有し参考とした。なお、事例の収集にあたり文部科学省の後援・協力、都道府県教育委員会、指定都市教育委員会等の協力を得ている。

○期間 令和4年1月24日(月)～30日(日)

- 内容 ・学校給食週間中に行う児童生徒への啓発活動
- ・学校給食に関しての保護者や地域の方々への広報活動
- ・学校給食週間中の取組事例集の作成・発行 8,800部(令和2年度実施分)
- ・全国で行われている食育活動の収集(令和3年度実施分)

(2) 食育推進リーフレットの作成・配布

食育推進全国大会や「早寝早起き朝ごはん」全国協議会開催イベント等で配布し、食育推進の啓発活動を行うため、本会事業を踏まえたリーフレットを作成した。

- ・「日本各地の郷土料理」 20,000部

(3) 食育月間事業―第16回食育推進全国大会―

国の施策である食育月間における「食育推進全国大会」に参画し、啓発資料の配布、掲示、食育活動を展開し、広く国民の心身の健全な発達に寄与する活動は、オンラインで開催された。

○期日 令和3年6月26日(土)～27日(日)

- 内容 ・トークショー ・料理教室 ・食メッセージ ・食育活動表彰

(4) 関係団体への協力

食育の推進及び学校給食の振興、栄養教諭・学校栄養職員の資質向上に関連する他団体の事業に参画し、専門性に基づいた支援や意見提言を行った。

<関係団体>

- ・食育推進会議（農林水産省）・・・・・・・・委員として関与
- ・「早寝早起き朝ごはん」全国協議会・・・幹事会の構成員として関与
「早寝早起き朝ごはん」全国協議会開催イベント（キッズフェスタ）でブースを出展し、リーフレットの配布及び食育体験活動は、不開催となった。
 - 期日 令和3年5月22日（土）、令和3年10月23日（土）
 - 会場 国立オリンピック記念青少年総合センター
 - 内容 ・体験活動 ・パネル展示 ・啓発資料の配布
 - 対象 親子
- ・全国地産地消推進協議会（農林水産省）・幹事会の構成員として関与
- ・（公財）日本学校保健会・・・・・・・・理事会、評議員会の構成員として関与
- ・（公財）学校給食研究改善協会・・・・・・・・理事会、評議員会の構成員として関与
全学栄製品及び全学栄すいせん製品等の食材を活用した調理研究事業に参画することにより、学校給食の献立内容を豊かにし、教材としての充実を図るための資質を養った。
 - ① 調理講習会（栄養教諭・学校栄養職員対象）
 - ② 親子料理教室（児童生徒・保護者対象）
 - 実施期間 令和3年度
 - 会場 調理講習会（全国 18都道府県）
親子料理教室（全国 22都道府県）
 - 内容 調理講習会・講演
- ・（一社）Jミルク・・・「ジャパンミルクコンGRESS 2021」、「ウェビナー 持続可能な日本の食と栄養のこれからを考える」に後援として関与

公2. 食育推進人材育成事業

(1) 栄養教諭免許状更新講習

栄養教諭免許状更新講習として、選択領域18時間の講習会を開設し、受講証明書を付与した。

- 期日及び人数 令和3年9月17日（金）～30日（木） 121名
- 実施形態 インターネット配信
- 対象 栄養教諭免許状更新該当者

(2) 食育推進講習会

栄養教諭をはじめとする食育推進に関わる者及び今後食育に関わることを目指す学生等の専門的知識の修得と指導力の充実を図ることを目的として行った。

近年、学校における食育の推進の中核となる栄養教諭・学校栄養職員の専門的知識や技能の向上が求められており、食育の評価や栄養教諭の配置効果が見える形で示していく必要があることから、食育に関わるものの指導力の充実を図った。

なお、実施にあたり文部科学省の後援を得ている。

- 期日及び人数

【データ解析・論文コース】

- 第1回 令和3年10月 9日（土）～11日（月） 57名
- 第2回 令和3年10月29日（金）～31日（日） 55名

【一般コース】

- 第1回 令和3年11月12日（金）～13日（土） 58名
- 第2回 令和3年11月26日（金）～27日（土） 55名

- 実施形態 インターネット配信
- 対象 本会会員

(3) 第57回学校給食夏季講習会

学校給食の食事内容を改善充実し、児童生徒の体力増進、食事に対する正しい知識とその実践を図るために必要な事項について研修を行い、栄養教諭・学校栄養職員の資質の向上と学校給食の振興に資することを目的として行った。

なお、実施にあたり文部科学省の後援を得ている。

- 期日及び人数 令和3年7月17日(土)～19日(月) 131名
- 実施形態 インターネット配信
- 対象 本会会員

(4) 栄養教諭のためのカリキュラム検討委員会

食に関する指導の手引き—第二次改訂版—を踏まえて、身に付けたい資質・能力を食育の視点に沿っておさえた「教科等における食に関する指導」の指導展開例をまとめた。

今年度は、新しい食育「教科等における食に関する指導 小学校Ⅱ」として刊行し、栄養教諭等関係機関へ配布した。

- 組織 栄養教諭のためのカリキュラム検討委員会 6回開催(リモート開催)
- 刊行 新しい食育「教科等における食に関する指導 小学校Ⅱ」 8,800部

(5) 都道府県代表者研修会

本会が取り組む食育を全国的に推進するための知識、手立てを共有し、会員相互の資質向上と食育推進のレベルアップを図る目的で開催する本研修会は、リモートで開催した。

- <1回> ○期日 令和3年8月4日(水)
- 会場 本会事務所(リモート開催)
- 対象 本会会員の都道府県代表者

- <2回> ○期日 令和3年12月9日(木)
- 会場 本会事務所(リモート開催)
- 対象 本会会員の都道府県代表者

(6) 第62回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会

学校における食育の推進にむけて、児童生徒に対する食に関する指導のあり方や学校給食の充実を図る方策について研究協議を行う全国大会であり、文部科学省及び開催地の都道府県教育委員会とともにこの大会を主催し、オンラインで開催した。

- 期日 令和3年8月5日(木)～6日(金)
- 会場 Gメッセ群馬(群馬県高崎市)
- 対象 栄養教諭・学校栄養職員及び学校給食関係者

(7) 第72回全国学校給食研究協議大会への参加

主催は文部科学省及び開催地の都道府県教育委員会等。学校における食育推進にとって重要な役割を担う学校給食のあり方について、全体会、分科会で研究協議を行い、学校給食関係者の資質向上を図る目的で開催されるこの大会は、オンラインで開催された。

- 期日 令和3年10月21日(木)～22日(金)
- 会場 札幌市民交流プラザ(北海道札幌市)
- 対象 栄養教諭・学校栄養職員及び学校給食関係者

(8) 広報活動

① ホームページの充実

本会事業の推進と成果及び調査研究結果等を会員及び広く不特定多数に対し開示するとともに、新たな情報やニーズを把握して随時、更新を行った。また、利用しやすいホームページとするためのリニューアルを行った。

② 機関誌「公益社団法人全国学校栄養士協議会報」を会員及び関係者に配付した。

第78号(令和3年8月発行)、第79号(令和4年1月発行) 各9,000部

公3. 健康増進調査研究事業

(1) 食生活実態調査

児童生徒の健康増進に関する調査研究及び学校給食の振興に関する調査研究を行い、課題解決の具体的方策の検討を行った。あわせて、研究の成果を広く公表した。

① 研究推進助成事業

○内容 都道府県学校栄養士研究団体又は会員団体が行う食育に関わる研究を募集し、審査の上で助成した。

○助成費 1年間、1都道府県10万円 2県

・静岡県 研究題目 「児童の朝食摂取状況に基づく異なる対象者への朝食指導介入による教育効果の検討」

・広島県 研究題目 「学校給食における食塩相当量を減少させる方法の探索的研究」

○報告書 令和2年度助成先(広島県)について、都道府県代表者研修会で研究の成果を発表するとともに、機関誌やホームページに掲載した。

② 食育推進実態調査

○内容 食育推進状況を把握し、指導に活かすための手立てについて研究を行った。

○事例収集 令和元年度に実施した「食育推進実態調査」結果による課題解決の参考になる「地域産物活用や食文化継承のための体験学習をテーマとした実践研究事例」を集めた。

(2) 栄養・衛生・安全管理の徹底を図る事業

学校給食における食中毒防止の徹底を図るため栄養教諭、学校栄養職員が小グループ研究班を編成して学校給食施設を訪問し、衛生管理体制等の現状把握と点検を行った。点検、協議の結果からその改善点を見だし、衛生管理の徹底を図ることを目的とした報告書を作成・配付した。

○実施期間 令和3年度

○対象 全国学校給食施設

○方法 小グループによる研究授業方式をとった研究実践(点検・記録・協議)

○報告書 8,800部(令和2年度実施分)

なお、実施にあたり文部科学省の後援・協力、都道府県教育委員会、指定都市教育委員会等の協力を得ている。

(3) 学校給食用食品の研究開発

学校給食への優良な物資の供給を図ることをとおして、学校給食の振興に寄与し児童生徒の心身の

健康に資することを目的として検討、見直しを行った。

① 災害時における非常食の開発

災害発生による非常時においても、成長期の子供たちに栄養バランスのとれた食を提供することができるために、災害時学校給食用非常食を開発し、子供たちの心身の安定と体力保持に寄与することを目的として検討した。

○組織 災害時学校給食用非常食開発委員会 3回開催（リモート開催）

○内容 食品開発の検討

○普及活動

・サンプル配付（救給カレー、救給根菜汁、救給コーンポタージュ、救給五目ごはん）
各205箱

② 全学栄製品及び全学栄すいせん製品の選定と献立研究

全学栄製品及び全学栄すいせん製品の見直しを行った。

- 1) 全学栄製品「全学栄 枝豆とじゃこの元気ボール」の原料変更について
- 2) 全学栄すいせん製品「スクールがんもどき」の原材料表示変更について
- 3) 全学栄すいせん製品「白花豆&白いんげん豆ペースト」、「青大豆ペースト」の製造工程、包装工程、包装方法、包材サイズの変更について
- 4) 全学栄すいせん製品「スクールかにボール」一時休売について
- 5) 全学栄すいせん製品「スクール糸かまぼこ（ほぐし）」の配合変更について

Ⅲ 会議

総会・理事会・都道府県代表者会を下記のとおり開催した。

会議名	回数	期 日	内 容
理事会	第1回	令和3年 5月23日（日）	令和2年度事業報告及び収支決算、定時総会の開催、令和4年度正会員・賛助会員の入会金及び会費、理事の選任（リモート開催）
都道府県代表者会	第1回	令和3年 6月11日（金）	事業報告（リモート開催）
定時総会	第48回	令和3年 6月11日（金）	令和2年度事業報告及び収支決算、令和4年度正会員・賛助会員の入会金及び会費、理事の選任（リモート開催）
理事会	第2回	令和3年 6月11日（金）	組織編成（リモート開催）
理事会	第3回	令和3年 8月 4日（水）	事業報告（リモート開催）
理事会	第4回	令和3年10月24日（日）	正会員の入会、賛助会員の入会、事業報告（リモート開催）
理事会	第5回	令和3年12月 9日（木）	事業報告及び令和4年度事業計画（リモート開催）
理事会	第6回	令和4年 2月12日（土）	正会員の入会、事業報告及び令和4年度事業計画及び収支予算（リモート開催）
理事会	第7回	令和4年 3月 9日（水）	正会員の入会、事業報告（リモート開催）
都道府県代表者会	第2回	令和4年 3月 9日（水）	正会員の入会、事業報告及び令和4年度事業計画及び収支予算（リモート開催）

IV 事業報告の附属明細書

1 補足すべき重要な事項

該当事項はありません。